

## 平成25年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年12月11日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク 上場取引所 大  
 コード番号 7614 URL <http://www.om2.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大越 勤  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 澄川 新一 TEL 03(5405) 9541  
 四半期報告書提出予定日 平成24年12月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年1月期第3四半期の連結業績（平成24年2月1日～平成24年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第3四半期	24,659	11.1	967	154.3	1,090	127.4	526	473.8
24年1月期第3四半期	22,198	3.2	380	116.7	479	76.0	91	90.5

(注) 包括利益 25年1月期第3四半期 526百万円 (-%) 24年1月期第3四半期 Δ17百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第3四半期	77.31	—
24年1月期第3四半期	13.47	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年1月期第3四半期	13,804	7,331	53.1	1,075.62
24年1月期	12,898	6,940	53.8	1,018.30

(参考) 自己資本 25年1月期第3四半期 7,331百万円 24年1月期 6,940百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	0.00	—	20.00	20.00
25年1月期	—	0.00	—	—	—
25年1月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年1月期の連結業績予想（平成24年2月1日～平成25年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,500	10.2	1,190	59.3	1,350	50.8	630	172.3	92.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年1月期3Q	7,335,634株	24年1月期	7,335,634株
② 期末自己株式数	25年1月期3Q	519,451株	24年1月期	519,451株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年1月期3Q	6,816,183株	24年1月期3Q	6,816,183株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞から回復の兆しが見えてきたものの、欧州の債務問題、中国経済の減速懸念や円高の長期化、電力供給問題など先行き不透明な状況にあります。

当社グループ中核事業の属する食品小売及び外食業界におきましても、個人消費の低迷が続く中、お客様の節約・低価格志向やそれに伴う企業間の競争激化等、厳しい状況が続いています。

このような中で当社グループは、新規ディベロッパーとの取り組みによる出店や既存店活性化の継続、外食部門にあってはグループ経営強化として昨年12月買収のステーキレストランチェーン事業の確実な業務移管と競争力向上のための施策を実施し、さらには加工事業における新規顧客開拓等に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は246億59百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は9億67百万円（同154.3%増）、経常利益は10億90百万円（同127.4%増）、四半期純利益は5億26百万円（同473.8%増）となりました。

営業の概況をセグメント別に記述すると以下の通りであります。

#### 「食肉等の小売業」

当第3四半期連結累計期間中の開店は10店、閉店は9店であり、その結果、当第3四半期末の店舗数は148店になりました。内訳は食肉小売店121店（前期末比3店増）、惣菜小売店27店（前期末比2店減）であります。当セグメントを取り巻く環境は上記記載の通りで、新規ディベロッパーとの取り組みによる出店の他、既存ディベロッパーとの新規取引開始、既存店活性化活動の継続、生産性向上に向けた従業員技術教育等に取り組んだ結果、売上高は151億71百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は6億99百万円（同4.2%増）となりました。

#### 「食肉等の製造・加工業」

主力のハム・ソーセージ部門において新規深耕開拓が進み、売上高は45億49百万円（前年同期比4.8%増）となりました。営業利益は歩留まり改善や経費削減効果があり2億49百万円（同94.9%増）となりました。

#### 「外食業」

当第3四半期連結累計期間中の開店は3店、閉店は4店であり、その結果、当第3四半期末の店舗数は59店になりました。売上高につきましては、(株)焼肉の牛太における新規店舗の好調に加え、当期よりグループ参入の(株)オーエムツーダイニングの取込により、53億77百万円（前年同期比66.8%増）と前年比大幅な増加となりました。営業利益につきましても、東日本エリアの店舗損益の回復と(株)オーエムツーダイニングの参入、さらにはのれんの償却が52百万円に軽減された結果、2億35百万円（前年同期は1億67百万円の営業損失）と大きく改善いたしました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期連結累計期間末の主要勘定の金額及びその前連結会計年度末比は以下の通りであり、大きな変動はありません。

流動資産	86億54百万円（前期末比+14.0%）
固定資産	51億50百万円（同△3.0%）
総資産	138億4百万円（同+7.0%）
流動負債	46億35百万円（同+7.7%）
固定負債	18億37百万円（同+11.2%）
純資産	73億31百万円（同+5.6%）
負債・純資産合計	138億4百万円（同+7.0%）

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年1月期の通期業績予想につきましては、平成24年9月3日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載しました通りであり、連結売上高335億円、連結営業利益11億90百万円、連結経常利益13億50百万円、連結当期純利益6億30百万円を見込んでおります。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

### （4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

なお、「金融商品会計に関する実務指針」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号）に基づき、当第3四半期連結累計期間の「貸倒引当金戻入額」は、「営業外収益」に計上しておりますが、前第3四半期連結累計期間については遡及処理を行っておりません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,807,175	5,588,212
受取手形及び売掛金	799,834	810,591
テナント未収入金	986,666	1,019,832
商品及び製品	497,244	482,271
仕掛品	9,165	9,409
原材料及び貯蔵品	170,104	321,115
繰延税金資産	89,877	153,043
未収入金	141,345	166,251
その他	107,735	128,631
貸倒引当金	△18,060	△25,018
流動資産合計	7,591,088	8,654,339
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,021,395	4,021,517
減価償却累計額	△2,252,026	△2,365,722
建物及び構築物（純額）	1,769,369	1,655,795
機械装置及び運搬具	1,872,912	1,710,693
減価償却累計額	△1,627,652	△1,445,672
機械装置及び運搬具（純額）	245,259	265,021
土地	769,700	749,186
その他	1,201,763	1,304,002
減価償却累計額	△829,007	△949,786
その他（純額）	372,755	354,215
減損損失累計額	△411,419	△351,423
有形固定資産合計	2,745,664	2,672,795
無形固定資産		
のれん	83,640	30,918
その他	167,782	157,266
無形固定資産合計	251,423	188,185
投資その他の資産		
投資有価証券	107,847	115,973
長期貸付金	17,854	24,112
繰延税金資産	238,679	228,075
敷金及び保証金	1,488,854	1,435,893
投資不動産	336,615	386,170
減価償却累計額	△16,971	△31,057
投資不動産（純額）	319,644	355,112
その他	173,860	152,022
貸倒引当金	△36,729	△21,922
投資その他の資産合計	2,310,011	2,289,268
固定資産合計	5,307,098	5,150,249
資産合計	12,898,187	13,804,588

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,020,074	2,246,685
短期借入金	654,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	401,352	425,428
未払金	346,473	405,556
未払法人税等	330,246	313,885
賞与引当金	103,576	243,876
その他	449,657	500,205
流動負債合計	4,305,380	4,635,637
固定負債		
長期借入金	1,068,401	1,256,750
長期未払金	11,731	3,197
退職給付引当金	240,795	239,430
役員退職慰労引当金	65,972	70,616
資産除去債務	179,463	185,329
その他	85,490	82,006
固定負債合計	1,651,853	1,837,330
負債合計	5,957,234	6,472,968
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,064,000	1,064,000
利益剰余金	5,877,227	6,267,838
自己株式	△476,077	△476,077
株主資本合計	6,931,849	7,322,460
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,103	9,159
その他の包括利益累計額合計	9,103	9,159
純資産合計	6,940,952	7,331,620
負債純資産合計	12,898,187	13,804,588

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)
売上高	22,198,997	24,659,433
売上原価	14,801,532	15,320,188
売上総利益	7,397,465	9,339,245
販売費及び一般管理費	7,016,975	8,371,747
営業利益	380,489	967,497
営業外収益		
受取利息	1,595	1,989
受取配当金	4,487	1,116
持分法による投資利益	—	1,556
受取賃貸料	60,021	89,938
協賛金収入	28,682	33,857
受取手数料	18,360	10,129
貸倒引当金戻入額	—	14,807
その他	32,579	31,369
営業外収益合計	145,727	184,765
営業外費用		
支払利息	14,263	15,838
持分法による投資損失	3,009	—
不動産賃貸原価	22,425	44,369
その他	7,107	1,746
営業外費用合計	46,806	61,955
経常利益	479,410	1,090,307
特別利益		
有形固定資産売却益	26,554	554
貸倒引当金戻入額	4,585	—
受取補償金	16,281	—
その他	10,843	—
特別利益合計	58,264	554
特別損失		
有形固定資産売却損	253	46
有形固定資産除却損	2,449	37,828
減損損失	31,944	32,857
店舗閉鎖損失	35,913	18,842
投資有価証券評価損	3,630	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	75,181	—
その他	10,116	96
特別損失合計	159,487	89,671
税金等調整前四半期純利益	378,187	1,001,190
法人税、住民税及び事業税	286,439	523,546
法人税等調整額	△88	△49,291
法人税等合計	286,350	474,255
少数株主損益調整前四半期純利益	91,836	526,934
四半期純利益	91,836	526,934



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月1日 至平成23年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月1日 至平成24年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	91,836	526,934
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△109,425	56
その他の包括利益合計	△109,425	56
四半期包括利益	△17,588	526,991
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△17,588	526,991

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年2月1日 至平成23年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	食肉等の製 造・加工業	外食業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,999,495	4,001,802	3,197,698	22,198,997	—	22,198,997
セグメント間の内部売上高 又は振替高	39,125	341,192	25,863	406,181	△406,181	—
計	15,038,620	4,342,995	3,223,562	22,605,178	△406,181	22,198,997
セグメント利益又は損失(△)	670,996	128,160	△167,703	631,453	△250,963	380,489

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△250,963千円は、セグメント間取引消去△38,570千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△212,393千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自平成23年2月1日 至平成23年10月31日）

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」セグメントにおいて、店舗設備等の一部の資産は、当該事業に係る損益及びキャッシュ・フローが継続してマイナスとなる状況であるため、前第3四半期連結累計期間において、収益性が著しく低下しているものと判断し、帳簿価額を回収可能価額等まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「食肉等の小売業」及び「外食業」セグメントにおいて、それぞれ28,567千円、3,376千円の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、前第3四半期連結累計期間において31,944千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年2月1日 至平成24年10月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	食肉等の製 造・加工業	外食業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,156,752	4,147,685	5,354,996	24,659,433	—	24,659,433
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,748	402,147	22,823	439,719	△439,719	—
計	15,171,501	4,549,832	5,377,819	25,099,153	△439,719	24,659,433
セグメント利益	699,332	249,769	235,211	1,184,314	△216,816	967,497

(注) 1. セグメント利益の調整額△216,816千円は、セグメント間取引消去△12,627千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△204,189千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成24年2月1日 至平成24年10月31日）

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」セグメントにおいて、店舗設備等の一部の資産は、当該事業に係る損益及びキャッシュ・フローが継続してマイナスとなる状況であるため、当第3四半期連結累計期間において、収益性が著しく低下しているものと判断し、帳簿価額を回収可能価額等まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

「食肉等の小売業」及び「外食業」セグメントにおいて、それぞれ30,838千円、2,018千円の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において32,857千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。